

学校運営協議会 議事録

校名	府立淀川工科高等学校
校長名	駒井 知一

開催日時	令和5年11月24日(金) 13:30~16:15
開催場所	府立淀川工科高等学校 記念会館1階
出席者(委員)	川田会長、吉田副会長、千石委員、南波委員、辻井委員
出席者(学校)	駒井校長、三谷教頭、福井事務長、林首席、三谷首席、奥平首席他15名
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度 学校経営計画進捗状況、他各分掌・各科系からの報告等
備考	

議題等(次第順)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度 学校経営計画進捗状況</li> <li>・令和5年度 各分掌の取り組みの状況</li> <li>・令和5年度 各科・系の取り組みの状況</li> </ul>
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>(1)授業見学について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数以外の一斉授業についても一度見学させていただきたい。 →来年はクラス35人の授業も見学させていただきたい。工業高校なので実習場を見て頂きたかったこともあり、少人数になりました。</li> <li>・一斉で、国語などの授業を受けている授業を見れば大体(生徒の様子が)分かるので、お願いします。 →30名でもしっかりやっております。おとなしくみんな受けている。チャイムが鳴って入室指導も特段必要ないです。来年は普通科の授業も見えていただけるよう組みます。</li> </ul> <p>(2)報告①令和5年度学校経営計画進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1. 確かな学力の育成と授業改善(1)ウ 保護者の見学の機会はあったのか。 →保護者も11月に期間を設け、来校いただき見学を実施しています。PTA主催の授業見学会で20名程度参加されています。</li> <li>・3. 信頼される魅力ある学校づくり(1)ウ 中学校の進路調査で去年は1.07倍で今年が全体0.92、総合0.93、工学0.91とかなり下がっているようだが、これは人口減の影響なのか中学生の志向が変わっているのか原因は何か。 →右から2列目(R4年度評価指標)に記載しているのは昨年度の倍率で確定値です。一番右側は10月時点の中学生の進路希望調査の数値です。これから11月12月と数字は変化いたします。昨年度もこの時期の倍率は今年度と同程度であったが、時期が進むにつれて1倍に近づいていった。現時点での状況です。</li> <li>・淀エブログをメインで発信されているということだが、閲覧者の統計をとって昨年からの比較はできているのか。 →統計はとっていません。今後検討いたします。</li> <li>・今はブログよりもInstagramやフェイスブックの方が効果があるのではないかと感じています。大学でも随分盛んに利用して閲覧者数やフォロワー数を見ている。そのあたりはどうか。 →各クラブで独自に行っている例もありますが、学校全体では扱っていません。</li> <li>・ブログをそのままそちらに転記することはできないか。若い人はすぐインスタやフェイスブック、Xなどの利用が多い。 →今の子どもに合わせた形で、検討してみます。</li> <li>・確かな学力の育成と授業改善(2)ア インターンシップ、1年生が非常に増えた理由は何か。 →学年全体で担任が呼びかけて、それが上手に働いて参加者が増えたと思っています。</li> <li>・これは企業側の受け入れの姿勢がだいぶ強まってきたこともあるのか。 →コロナ禍ではゼロでしたが、だいぶ緩まってきていると感じています。子どもたちが色々な現場に足を運んで見て、自分の進路開拓や進路決定の一助になっているので、参加者が増えて嬉しく思っています。</li> <li>・これは生徒の成長にすごくよいキャリア教育になると思うので。ぜひとも増やしく方向で進めてほしい。</li> </ul>

- ・1学期末の転学10名の理由をお聞きして、なるほどと思ったと同時に送り出す中学校側の問題でもあると思っている。やはり高校卒業時をある程度考えたくえで進路指導を中学校側でも行っているつもりではあるが、やはり定員割れのところで合わなくて途中でやめたということは、進路選択する時の中学校側の問題でもあると思う。この問題は持って帰りたいと思う。
- ・イオンモール大日でイベントを生徒会活動でやられているということだが、工業系の面白さを伝えるにはこういう活動が非常に重要だと工業教育審議会でも話し合っていたが、参加人数など当日の状況を教えてほしい。
  - 午前10～15時の間で行いました。イオンモールの案内は地域の方々には伝わっていたようで、イベントの事ももって分かった状態で来たのが、小さいお子様連れで、40組くらい来ました。
- ・やはり小学生がメインで中学生は全然来ていないか。
  - 中学生となると保護者と一緒には来てませんでした。小学生と保護者の組み合わせがほとんどです。
- ・これは淀工だけが実施したのか。
  - 元々、城東工科高校さんがイオンモール鶴見緑地で開催していた。イオン大日で開催する時に一緒にやらないかと声がかかった
- ・どこが調整しているのか。
  - 府教委の再編整備課が推進しています。城東工科や布施工科は以前から実施していたが、本校は今回が初めてです。
- ・出店料はいるのか。
  - 大阪府とイオンが包括協定を結んでいるので、無料です。
- ・本校(私学)で出入りしている業者さんにイオンモールでのイベントを提案されたが、出店料が気になっている。
- ・中学生には広報が行き届いていないのではないか。
  - 学校単位で案内は一切なかったと思います。イオンから地域の方々には案内はあったようです。
- ・高校側から広報してもいいのではないか。
  - 申し込み制で40組で限定しましたが、実際はものすごい人数が来られて、お断りしたのが実態です。イオンの集客はものすごい人数なので、限定しないと大変なことになることが予想されます。
- ・それではもう少し高校が相乗りしても大丈夫ではないか。
  - 無料でスペースを貸してもらえるので、大変ありがたい。
- ・やはり良さを知られていないのが大きい。どうやって広報するか。学校に来てもらったイベント、出向いてのイベント。
  - 再編整備課に星翔高校とコラボできないか聞いてみます。
- ・中学校の先生方が、工業高校をご存じない。特に理系の先生方に見学していただくことは可能か。
  - (千石委員)教員向けの案内はいただいているが、なかなか忙しくて行けていない。できれば見せていただきたい。子どもたちの中にはものづくりが好きな子どももいる。
- ・工業高校の実態を知ってもらうことが今後、進路指導でも重要になってくる。今後協力して頂きたい。
  - 工業高校出身で高校の先生になることはあるが、工業高校出身で中学校教諭になっている先生が少ないのではないか。普通科高校出身で教員になった場合、工業高校の中身は分からない。ぜひ機会があれば実現したい。
- ・発信がネックになっている。生徒はかなり恵まれた環境で最先端の教育を受けているということを発信していなければならない。

### (3)報告② 令和5年度 各分掌の取り組みの状況について

- ・保健部報告の中で、来室者増加で苦慮されているということだが、養護教諭は何名配置か。複数配置されているのか。  
→1名です。
- ・複数配置必要ではないか。  
→要望しても予算の中で、他校が1名減になり本校に配置されることもあり、実現できていない。
- ・教務部総務係報告で学校見学会の10月11日の昨年度比較で人数の変化はあったのか。  
→ほぼ同じ状況です。特に授業見学は今年から始めました。午前中ということでそれほど人数が受け入れられないので、30名に絞って受け入れましたが、これも人気ですぐ埋まる状況でした。来年度どうするかは改めて検討するが保護者からの要望も高いと感じています。他の施設見学に関しては10月開催時は、休日でしたが授業を行った関係で、活動しているクラブ数も多く、かなり沢山の方が残って見学されていたので、これも来年度つなげていければ魅力の発信にもなると考えています。
- ・30名に絞るのはもったいないのではないかと。  
→対応できるのが授業のない首席の先生だけになるので、これ以上は受け入れられません。
- ・体育祭の開催が来年6月になった理由を教えてください。  
→これは校長から生徒会に提案した。秋に二つの大きな行事を、数人しかいない特別活動係の教員が夜9時10時まで残らないといけない状況を解消したいためです。6月に大きな行事がないため分散を図った。熱中症についても梅雨前のほうが気を使わない。そういったところを総合的に考えて校長から提案し、その方向で動いています。
- ・金曜日開催なのですね。  
→今度は平日開催です。土日の方が来場者が多いことも想定しました。ただ早めに平日ということを出し出せば、保護者の方も早めに都合をつけていただけることで、それほど差は出ないと考えました。
- ・これは淀工安心メールで発信されるのか。  
→行事予定が確定するのが2~3月です。子ども達には4月に行事予定を配ります。この年度内の発信の予定はありませんが、早めに発信は必要と考えています。新2,3年生には早めに発信する予定です。
- ・アクエリアスも配れるのか。  
→改めて相談させていただきます。
- ・1年生の生徒指導件数が多いということだが、高校生の生徒指導はどのような問題が発生するのか。遅刻が非常に多いということだが、これはやはり府内広域から通うことも原因だと思われるのか。  
→遅刻者は割と限定的です。特定の子どもが複数回というパターンが多いです。自宅が遠方だから遅刻が多いということはない。やはり学校に対する意欲や家庭環境等があって、遅刻数が多い子どもがずるずる繰り返している偏った状況です。
- ・相談室の利用に関して、常駐されているのが生徒指導部と教育相談係2名と書かれているが、相談するための先生が常時いるということか。  
→以前は3名体制で学校の教員定数が減って2名体制になった。その2名も普通に授業を持っているので、どうしても空き時間が発生する。ただ授業が終わったら相談室に戻って子どもが来るのを待つ状況です。すべての時間オープンというのは人員的に厳しいです。5、6年前から教員15名減って、来年また2名減られます。35人学級というのも表向きには少人数でいいのですが、委員会は35名学級で教員定数を決めていくので、高校側にとっては非常に厳しい状況です。  
さきほどの特別活動係も少ない人数で業務量は変わらないのです。教育相談も2名体制。4分掌のどこかで2名減しなければならない。
- ・SCは来られていないのか。中学校では週1回来てくれたらありがたい状況だがそれでも全然足りない。もう少し増やしてほしいと校長会からも要望しているが現状厳しい。  
→年間16回こられる予定です。
- ・中学校は支援学級があるので、その先生方でなんとか対応できている。しかし高校は支援学級がなく、通級も限られた学校で、それも通級の担当者をつけているのではなく、現場の教員に任されている状況ということは聞いている。特別支援を要する子どもへはどのような体制をとられているのか。  
→担当が入口でキャッチして教科担当、相談室、生活指導、SC等の外部と連携組んで、手探り状態で子どもに応じて横のつながりで子どもや保護者に対応している状況。
- ・特別支援が必要な生徒は増えているのか。  
→そうですね。本校は定員割れていないが、校長同士の話では、他校では定員割れの状況で支援の必要な子どもが2~3割いるといった工科高校もあります。しかし大阪府から人員の配当もないので、手弁当でなんとかやっていっている状況です。

### (4)報告③ 令和5年度 各科・系の取り組みの状況

- ・電気系報告で資格取得の人数、電気工事士43名とたくさん合格しているが、合格率は？  
→84%です。

### (5)その他

- ・私学より淀工の方が機械がたくさんあるということか。  
→(辻井委員)なかなか言いにくいですが、最新の工作機械は私学では整備するのは難しい。
- ・保護者からしたら私学の方がたくさんあるイメージがあるか。  
→小ざれいにはしている。ちり一つない。業者入れて徹底して掃除している。汚いが手入れしている。見た目が大事。工作機械は大事。汎用機械はどれも古い。NCとか立派な機械を見たら公立に行こうとなる。
- ・メンテナンス費用も相当かかる。私学でそれをやっていこうとなると厳しい。

次回の会議日程	
日時	2月
会場	府立淀川工科高等学校 記念会館1階